

322 中央大学柔道大会

〔『法学新報』第22卷11(259)号 大正元年12月1日〕

○中央大学柔道大会 去月十七日午前九時より第七回柔道大会

を同大学講堂に開催したり当日は伊藤会長山田師範出席富田、内田、鈴木、山崎、村上、高橋、甲佐、新免、福田、中野の諸師の臨席せらるるありて先づ河野虎雄、関憲次の二氏を大将とし山田師範審判の下に部員の紅白勝負を為し次て京華、錦城、早稲田、開成、青山師範、攻玉舎、豊島師範、府立一中、高輪、埼玉師範及中学、青山、独逸協会等中学師範学校選手の聯合紅白勝負を為したり午後より専門学校選手の無段者三本勝負を開始し加納対埼玉師範田尻は田尻の勝、講道館高島対錦城今城は高島の勝、間宮対高商黒沢は黒沢の勝、京華荒野対水産佐々木は佐々木の勝、土持対豊島師範松本は松本の勝、和田対高商太田は太田の勝、吉田対嘉納塾和田は和田の勝、朝川対日大若園は朝川の勝、辻村対嘉納塾織田は辻村の勝、日大猪飼対外語立山は猪飼の勝、農大桑島対日蓮宗小森は引分、慶大隈対講道館柴田は柴田の勝、青師植松対井上道場水村は植松の勝、独協浜対深田道場延は延の勝、松本対講道館熊谷は松本の勝、神崎対青山学院山崎は神崎の勝、早中松岡対青師栗原は栗原の勝、袋野対一高細川は引分、独協永富対講道館奈須は奈須の勝、講道館馬場対深田道場片岡は馬場の勝、錦城安藤対青師河野は引分、一高石井対慶大山崎は山崎の勝、一中木村対独協加藤は木村の勝、一高吹野対深田道場三浦は三浦の勝、東洋協会松島対京中黒川は黒川の勝、早中平野対嘉納塾山田は引分、高橋対錦中大野は大野の勝、森田対講道館林田は足弘にて林田の勝、関対農大下は背負投にて下の勝、植山対日大二村は二村の勝、松本対講道館熊谷は押込みにて二村の勝にて有段者の勝負に入り初

段喜多対明大同松原は引分、初段金野対講道館同亀井は引分、独協初段安保対成城同尾形は押込みにて尾形の勝、講道館初段渡対附中同荘は押込みにて荘の勝、初段高木対早中同中野は大外刈返しにて中野の勝、独協初段中山対農大同宮崎は引分、初段寺田対講道館同駒井は押込みにて駒井の勝、早大二段中垣内対講道館同相墨は引分、慶応二段池野対講道館鶴淵は左跳腰にて鶴淵の勝、講道館三段新免対慶応三段塚本は背負投にて新免の勝夫れより本大学丹波三段に亀井初段、渡初段、中野初段、尾阪初段、堀内二段の五人掛を為し最初亀井は跳巻に敗れ渡は同じく跳巻に敗れ中野は大外刈に敗れ尾阪は左大外刈に敗れ堀内は跳巻に敗れて遂に丹波三段の全勝に帰し伊藤会長の挨拶賞品の授与等ありて一同散会したり